

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	143,032千円	237,731千円	149,878千円	0千円
総人件費	23,249千円	22,720千円	22,819千円	
総事業コスト	166,281千円	260,451千円	172,697千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	メモリアルホ-ル	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	04	01	09	11	メモリアルホ-ルに要する経費

事務事業名	01	メモリアルホ-ル運営	指標名	年間施設利用総件数				指標種別	活動結果指標			指標の概要				
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度						
戦略プラン	-	-	-	4200件	4150件	4150件	-	4100件	-	4100件	斎場(葬祭式場,火葬場,待合及び法要施設)の使用申請に対する貸館を行う。					
総合戦略	-	-	-	-	-	-					その他の指標 斎場開館から15年が経過していることから、建物施設の老朽化に伴う修繕や設備等の経年劣化による工事・修繕を計画的に進め、公の貸館施設の運営として量より質の向上を図る。					
実績	-	-	-	-	-	-										
個別計画	-	-	-	H27年度				H28年度								
改善目標	-	-	-	斎場施設の性質上、事業収益(施設使用料収入)による費用対効果は見込まず、葬祭儀式及び火葬の利用者に対するサービス提供を充実すべく質の向上を図るため、指定管理者制度を導入する。				再度葬祭儀式及び火葬の利用者に対するサービス提供を充実すべく質の向上を図るため、指定管理者制度を導入するため検討を続ける。								
事業計画	-	-	-	平成27年6月:定例議会 つくば市斎場条例の一部改正 債務負担行為、つくば市斎場条例施行規則の一部改正 平成27年9月:指定管理者の公募 平成27年11月:指定管理者候補者決定 平成27年12月:定例議会:指定管理者の指定 平成28年4月1日:指定管理者による管理運営開始				条例等及び債務負担行為並びに指定管理者制度導入に関しては継続して検討・協議していく。								
事業実施コスト	H26年度決算				H27年度決算				H28年度当初				H29年度当初			
事業費(A)	143,032千円				237,731千円				149,878千円				0千円			
内訳	国庫支出金				0千円				0千円				0千円			
	県支出金				0千円				0千円				0千円			
	地方債				0千円				86,300千円				0千円			
	その他特財				0千円				64,650千円				67,083千円			
	一般財源				143,032千円				86,781千円				82,795千円			
人件費(B)	23,249千円				22,720千円				22,819千円							
正職員	従事割合				3.00人				3.00人				3.00人			
内訳	時間外勤務				173.00時間				163.00時間				200.00時間			
	臨時職員等				有				有				有			
事業コスト(A+B)	166,281千円				260,451千円				172,697千円							
事業の目的	葬儀における通夜,告別式,法事に係る葬祭業務及び火葬業務を執り行う施設として,厳粛かつ丁寧なサービス提供と墓地埋葬法に基づく適切な火葬業務を遂行するため。															
事業の概要	斎場(葬祭式場,火葬場,待合及び法要施設)の貸館業務等の運営及び施設・設備の維持管理															
活動実績	全火葬件数:1716件 全待合利用件数:1488件 全通夜利用件数:286件 全告別利用件数:1026件 全霊安利用件数:153件 全法要利用件数:57件 全仮眠利用件数:197件 合計 4923件(3月31日現在)				上半期活動実績				-							
成果	屋上及び外壁等防水工事を行い,雨漏れがひどかった箇所をすべて修繕することができ,貸館施設の運営として質の向上を図ることができた。				上半期成果				-							
課題	指定管理者への移行は協議中															
事業の進捗状況	達成		目標の進捗状況		未達成		事業の進捗状況		-		目標の進捗状況		-			
ISO 14001 関連性	有効性		中:適切な成果が得られている		有効性		-		H29年度の方向性		理由		-			
	効率性		中:適切な費用対効果が得られている		効率性		-									
	総合評価		B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価		-									